

1/30
朝日

高浜3、4号機停止へ

テロ対策遅れ 工期は短縮

規制委が昨年4月、施設の完成が各原発の期限に間に合わない場合は運転を停止させることを決めていた。

から1年程度停止する。これから再稼働を目指す高浜1、2号機、美浜3号機(同県)も21年6月以降、1年半〜2年半停止する見込みで、それぞれ工期の短縮に取り組んでいる。

関電は昨年、ほかの原発でも施設工事は間に合わない見通しを示し、稼働中の大飯3、4号機も22年8月

必要供給力は確保できるとみている。

(西尾邦明)

関西電力は29日、福井県の高浜原発で建設中のテロ対策施設の完成が遅れ、3、4号機を夏以降、それぞれ5カ月、4カ月間停止させると発表した。当初は1年間の停止を見込んでいたが、工期を短縮できる見込み。夏場の電力供給に問題はなく、電気料金の値上げの予定もないという。

力規制委員会に報告した。3号機は8月2日から12月22日ごろまで、4号機は10月7日から来年2月10日ごろまで運転を止める。昨春には2基とも1年程度の停止期間を見込んでいたが、この日記者会見した近藤佳典・原子力事業本部副事業本部長は「建物工事と土木工事を並行して行うなど工期短縮に取り組んだ」と説明した。

原発1基が停止すると、代わりに動かす火力発電所の燃料費が月45億円程度かかる。ただ、今回は停止中に必要な定期検査を済ませるなどし、来年度は計画からのコスト増が2基で計約340億円となる見通しという。電気料金については「値上げは考えていない」(近藤氏)とした。

テロ対策施設は東京電力福島第一原発事故後に強化された新規制基準で義務づけられ、3号機は8月、4号機は10月までに設置するよう求められていた。関電は同日、停止の方針を原子

エアコンの使用などで夏場の電力需要は多くなるが、高浜3号機が止まっても大飯原発3、4号機(同県)が動かせる見込みで、

テロ対策施設はテロリストによる攻撃で大型航空機が衝突するような非常時でも、遠隔操作で原子炉を冷却できるようにするもの。